

令和6年度 すくわく

～自然～

# いろいろな虫を見つけてみたい！

虫に興味を持っていることから、芋掘りで見つけた幼虫とさなぎを虫かごに入れ、様子や生態を観察し興味を広げていった。虫がいなくなってくる時期ではあったが、散歩で拾ってきた落ち葉や枝を溜めて置くことでその中から虫が出てくるのを待った。

# テーマの 設定理由

園庭に出ると虫探しをする児が多く、隣の敷地が更地だということもあり小さな虫なども多くいる。秋の終わりで見つけられる虫は減っていたが、見つけると虫の好きな児が集まりよく観察している。そこから興味を広げたいと考えた。

# 活動スケジュール

自由遊びの時間に園庭での虫探しを楽しんでいた中、

10月31日に芋掘りがあり畑から幼虫やさなぎが見つかる。園に持ち帰り虫かごに入れて保育室で観察し育てる。散歩に行った時に拾ってきた落ち葉やどんぐり、枝を園庭の隅に置き虫が出てくるのを待ち、園庭に出た際に虫がいるか観察する。

# 活動内容

10月下旬に行った芋掘りで幼虫やさなぎを見つける。「何のさなぎ?」「これ育てたいな」との声があり土も持ち帰り虫かごに入れて観察し育てる。保育者が「園庭で落ち葉を片づけていると虫がいた」という話を聞き興味を持つ。そこで散歩先で見つけた落ち葉や枝、どんぐりを持ち帰り園庭の隅に置くことにする。その場所に虫が出てくるかを園庭に出る度に観察する。



芋掘りを楽しみながら  
幼虫を発見すると

「キャー！」

「先生、何かいるよ！」と

芋掘りよりも虫探しに熱中  
する子どもも多くいました。



さなぎを発見！！

「持って帰りたいな～」

「育ててみたいな」の声が  
聞かれました。

土をもらって虫かごに  
入れてみよう。

クラスでの飼育が始まります。



虫かごの中を見ながら  
「今この大きさかな？」  
「もうここまで大きいかな？」  
と土の中の幼虫を想像して  
楽しんでいます。



散歩で拾ってきた落ち葉や枝  
どんぐりを置いて  
虫が来るか見てみよう！！

毎日中をのぞきます。  
ちょっとドキドキ…  
シャベルや枝でそーっとね

# 活動の振り返り

---

子どもの興味のあることに対してこちらから促したりするのではなく、子どもから出た発見や気づき、疑問に寄り添う姿勢がとても大切だと学んだ。日常の中でも無理なく取り組み、落ち葉の中に何を入れると虫が出てくるのかよく考えていた。幼虫は毎日観察して期待を持っていたが、動きが少ないこともあり少しずつ興味がなくなってしまった。そういった時にどういう風に展開させていくのか、そこからどういう方向性で進めていくのかを引き出せると良かったと反省している。最後は死んでしまった幼虫と一緒に埋めお墓を作った。命があるということ、命を大切にすることを知らせていく機会になった。